

「乳酸菌 L.ラクトイス プラズマ」の継続摂取による かぜ様症状^{※1}（発熱・下痢）の累積発生日数、 および学校の累積欠席日数の減少を確認

※1 「上気道感染症」ならびに「消化器感染症」の症状を指す。

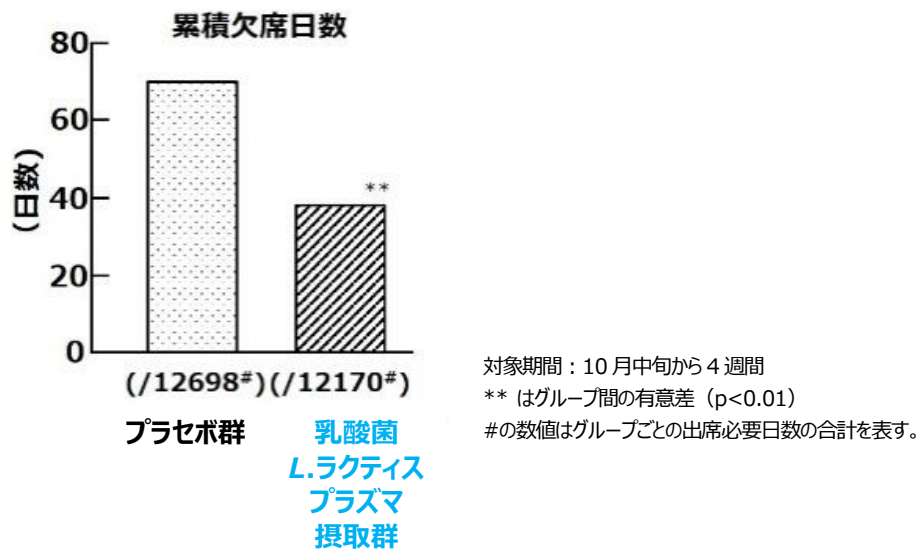
【臨床試験概要】

調査期間： 2020年9月～2021年1月（摂取期間8週間）
 対象： ベトナム ニンビン省に住む小学校1～3年生 約1,000名
 試験方法： 無作為化プラセボ対象二重盲検試験

【試験結果】

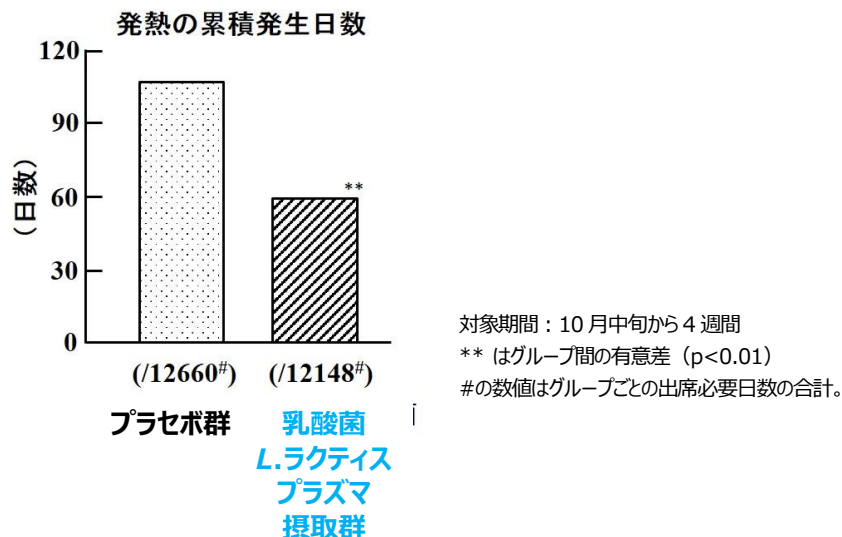
「乳酸菌 L.ラクトイス プラズマ」を摂取していたグループで、累積欠席日数が有意に低下したことを確認しました。また体調を崩した場合でも、「乳酸菌 L.ラクトイス プラズマ」を摂取していれば、かぜ様症状で学校を休む日数を短くできる可能性も示唆されました（図1）。

図1) かぜ様症状による累積欠席日数の減少



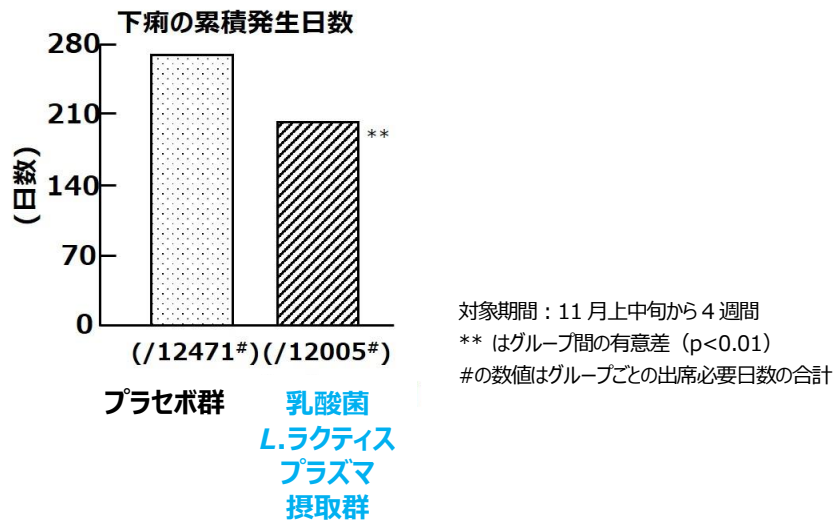
「乳酸菌 L.ラクトイス プラズマ」を摂取していたグループにおいて、「発熱」など呼吸器感染症に起因する症状の発生日数が、有意に低下しました（図2）。

図2) 呼吸器症状の累積発生日数の減少



「乳酸菌 *L. ラクティス* プラズマ」を摂取していたグループにおいて、「下痢」など消化器に起因する症状の発生日数が有意に低下しました（図3）。

図3) 消化器症状の累積発生日数の減少



4) 体調の自己評価の改善

「乳酸菌 *L. ラクティス* プラズマ」を摂取していた群の、「体調が悪い」と回答した累積日数が有意に低下。全般的な体調維持(改善)作用を示していると考えられた。

Modified from Nutrients 2022, 14, 552 より抜粋 (<https://www.mdpi.com/2072-6643/14/3/552>)